

黒田源次 （あぐり） 生理學者、美術史學者、文學博士。明治十九年十一月  
九日熊本縣上毛郡生れ、昭和二十二年一月十一日没（二六六一―九七七）。  
本姓有馬。號畏夫、松亭、春日野叟、蘆廬。第五高等學校を経て、明治四  
十四年京都帝國大學文藝科大學心理學科卒。大正九年同大醫學部講師、  
ドイツ留學後、十五年滿洲醫科大學教授となる。また東亞醫學研究所  
を設立し、所長兼任。滿洲の古文化調査と保存に努めた。昭和二十七年  
奈良國より博物館初代館長。

著書、（世）大庵文鏡編 （可）俳諧苦蕉談 （校訂、大正八年八月十五日録書  
堂 （大正）校訂俳諧名著文庫 （一）、文鏡他著 （可）苦蕉翁傳 （一）（編者、大正十  
年一月二十日聚英閣）、（可）西洋の影響を受けたる日本畫 （一）（大正十二  
年二月十五日中外出版株式會社）、（可）獨文化講演集・第九輯 （一）―  
（可）九下記念號 （一） （可）合著、昭和十年十月二十日獨文化協會 （一）等。